

未来へつなぐ暮らし

～わかちあう幸せ～

佐藤 幸子さん講演会

2013年2月17日(日)

13:30～16:00

場所：丹波の森公苑 多目的ルーム

1部

子どもの未来のために 今!必要なこと聞いてみよう!

放射能から子どもを守る福島ネットワーク代表

佐藤 幸子さん講演会



プロフィール 福島県伊達郡川俣町飯坂在住 1958年生まれ

1976年 川俣高校卒業後、同町商工会勤務。結婚を機に農業従事第一子誕生を機に「やまなみ農場」として慣行農業から有機農業に転換10年間続ける。1992年 自然農に出会い耕さないやり方で田畑作り開始 2010年まで自給自足を実践。その間研修生受け入れ NPO 法人青いそら設立ヘルパー派遣事業所開所。

2011年5月1日 子どもたちを放射能から守る福島ネットワーク設立、現在代表を務める。子どもを守るためには多少の考え方の違いを認めつつ、あらゆる人々が繋がることで子どもを守って行くことが出来ると考え、全国を飛び回る。また原発いらない福島の女たちと共に原発廃炉をめざす。3.11以前にやまなみ農場が実践してきた自然と共生する生活が、人間本来の暮らし方であると衣食住の自給はもちろん教育・医療・エネルギー・福祉・流通のありかたを根本から変えて行く必要性があることを提案。

共著：自然農への道 創森社

2部

未来のために今、何を選択するのか?

パネルディスカッション：テーマ『未来へつなぐ暮らし』

コーディネーター：守田敏也（フリーライター 篠山市原子力防災対策委員）

パネリスト：佐藤幸子（放射能から子どもを守る福島ネットワーク代表）

大月 傑（NPO法人風和 職員）

森田靖久（丹波新聞社 記者）

廣岡菜摘（福島市から避難移住 篠山市在住）

主催：どろんこキャラバン☆たんば実行委員会

共催：NPO法人バイオマスフォーラムたんば・NPO法人風和・ピースたんば

新しい風プロジェクト・3.11を憶念する会・つなぎ村子どもプロジェクト

丹波篠山避難移住者ネットワーク：こっからネット

後援：丹波の森公苑・丹波県民局・篠山市・丹波新聞